

コミュニティだより



QRコードからも
アクセスOK! ↑



■ 戸塚区汲沢1-16-1 TEL・FAX/864-6632

■ ホームページ・<https://community.chiiki-support.jp/higashigumisawa> ← カラー版もご覧ください!

2023年を締めくくる12月号は自主事業の報告と「子どもSOSの本」の話題でお楽しみください!

～ 子どもたちにも読んでもらいたい「子どもSOSの本」とは? ～

子どもの「いのち」を守るため、子どもが読んでも理解できる、いじめ・児童虐待・防犯等の児童書を「子どもSOSの本」と名付け、戸塚図書館では積極的に収集されています。今回、当館に4冊寄贈されましたのでご紹介します。



いじめられたらどうしよう

ジェン・グリーン/ぶん マイク・ゴードン/え
たなかまや/やく 評論社

ぼくはいじめられると、おなかがりきりきりしたくなる。でも、いやな時は「いやだよ」と言うし、自分の得意なことを考えて知らん顔しちゃうっていう手もあるよ。



うちに帰りたくないときによむ本

川崎二三彦/監修 北原明日香/絵
少年写真新聞社

ぼくが公園で出会ったあいつ。お父さんが暴力を振るうから、帰りたくないんだって。実はぼくも、離婚したお母さんの元気がなくて帰りたくないんだ。



きをつけなくちゃ!

なかやみわ/作・絵 ミキハウス

くまの男の子くうびいは、知らない人に声をかけられて、「いやだ! 怖い!」と思ったら、大きな声で叫ぶことをママと約束します。



あぶないときはいやです、だめです、いきません

子どもの身をまもるための本

清永奈穂/文 石塚ワカメ/絵 岩崎書店

「あぶない人がこわいことをする」って言うけど、考えてもよく分からない。そこでお母さんに聞いてみたら、具体的に教えてくれたよ。

子どもを守るのは、身近にいる大人たちです。子どもたちをどうしたらいじめや犯罪から守れるのか? 子ども自身が自分の身を守る方法とは? 日々悲しいニュースが流れてきますが、他人事ととらえず、大人にもぜひ読んで頂きたい本です。子どもが読むことで様々な危機に気づき、つらいこと、怖いことに声を上げる勇気を持ってもらいたいと願います。

～ 来場者はみんな大はしゃぎ! 「おどりばハロウィン」～



今年は開催日がひぐみオリンピックの翌日だったこともあり、ひぐみこたちの参加は多いといえなかつたものの、毎年恒例の「おどりばハロウィン」には、小学生や乳幼児と保護者の皆さんがたくさん訪れ、研修室2を使った会場で工作や写真撮影を楽しんでいました。



～ やっぱり一味違う通常開催！「ひぐみコミハFES」～

2023年の「ひぐみコミハFES」はコロナ禍以来の通常開催でした。「作品展」が「静」とするならば、「フェスティバル」は「動」。久しぶりのステージパフォーマンスでは、来館して下さった方々と、参加サークルの皆さんが一体となり、とても楽しい雰囲気となりました。もちろん華道や書道の作品展示や、焼き菓子販売・バザーも大盛況。他にも囲碁・将棋の体験や喫茶コーナーなど、内容も盛りだくさんのイベントとなりました。



～ 大好評につき、第2期も開催決定！「健康麻雀ひろば」～

自由にプレーできるスタイルが大好評だった「ひぐみコミハ健康麻雀ひろば」も、11月に惜しまれつつ最終回を迎えました。参加者の皆さんにはアンケートを実施しましたが、ほぼすべての方が継続的な実施をリクエスト。そして当館ではこれを受け、第2期の開催が決まりました。期間は2024年1月～3月まで、月に1度・全3回の実施です。集まった人がみんな笑顔になれる楽しいひと時を、「ひぐみコミハ健康麻雀ひろば」で体験してみませんか？



～ 年末年始休館のお知らせ ～

年末年始の休館日＝12/29（金）～1/3（水）

3月分の利用予約は1月4日（木）より受け付けを開始します。
※コミュニティだより次回の発行は2月（3月号）の予定です。



みんなで行こう！ひぐみコミハ

★ 交通アクセス ★

- 市営地下鉄をご利用の場合
「踊場駅」より徒歩15分
- バスをご利用の場合
戸塚駅西口「戸塚バスセンター」より
神奈中バス
 - ・汲沢団地行「戸塚高校前」下車徒歩5分
 - ・上飯田団地行または弥生台駅行「日産前」下車徒歩10分

※詳しくはホームページをご覧ください